

特別展

野の花たち

2018年5月29日(火) ~ 8月26日(日)

握り飯を食って
立ち上がれば
尿の下に
すみれの花が
つぶれていた
握り飯をつくって
くれた親の心も
足元の花も
気がずいぶん冷めていた

青春の日



【開館時間】 午前9時～午後5時(最終入館 午後4時30分)

【休館日】 期間中無休。会期後の8/27(月)は展示替えによる臨時休館となります。

【入館料】 大人500円、小人300円、幼児無料

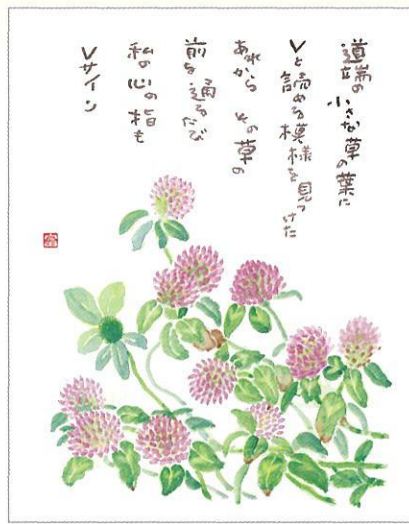
※団体20名以上2割引、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名5割引

富弘美術館
Tomihiro Art Museum

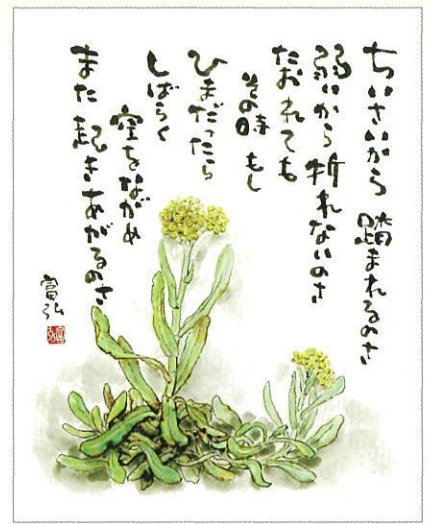
やさしさにいつでも逢える

特別展 野の花たち

星野富弘の作品には、多くの草花が登場します。本展では、作品のモチーフとなっている野の花に焦点をあてた展示を行います。星野の描く草花は、素朴さをそこわず、細部までを見つめることで、花のもつ精緻な美しさがみごとに表現されています。展示室以外では、作品に登場する草花を飾り、館内を野の花で満たします。また、星野が生まれ育ったこの地域でよばれている草花の別名を紹介し、暮らしの中に根づく野の花との関わりなども取り上げます。さらに、関連イベントも開催します。さまざまな角度から体感することで、富弘作品の魅力を探ります。



「Vサイン」



「母子草」



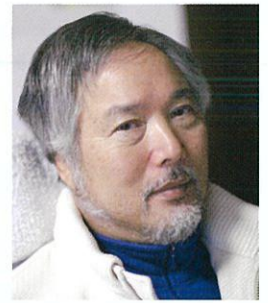
「落し物」



「つる草の指」

星野 富弘 (ほしの とみひろ)

1946年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に生まれる。群馬大学教育学部卒業後、中学校の教諭になるが、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷、手足の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文字や絵をかきはじめる。1982年高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年、群馬県東村に富弘美術館開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。著書多数。



関連イベント

ギャラリートーク

当館学芸員による作品解説

6月9日(土)・7月21日(土)・8月11日(土・祝)
午後2時～ 約20分間

講座

「草花スケッチ」(要予約)

6月23日(土)・7月14日(土)
午後1時30分～(定員20名)

講師：水彩画家
筑井孝子

水彩絵の具を使って草花をスケッチします。初めての方もお気軽にご参加ください。



「野の花アート体験」(要予約)

7月7日(土)
午後1時30分～(定員10名)

講師：野の花・野草アート協会
小玉智子

樹脂粘土を使って野の花を作ります。初めてでも簡単に出来上がります。



朗読会

「定期朗読会」

6月23日(土)・7月28日(土)・8月25日(土)

①午前10時30分～ ②午前11時30分～ 朗読：泉の会

「季節の朗読会」

7月16日(月・祝)

①午前11時30分～ ②午後1時30分～ 朗読：Lively

交通案内

北関東自動車道 太田藪塚I.C.より55分
関越自動車道 赤城I.C.より1時間20分
日光宇都宮道路 清滝I.C.より40分
わたらせ渓谷鐵道 神戸駅下車、市営バスで10分



次回展覧会の予定

企画展「ふるさとほここに」

8月28日(火)～11月25日(日)

※11月26日(月)は展示替えのため休館します。

富弘美術館
Tomihiko Art Museum
やさしさにいつも包まれる

〒376-0302 群馬県みどり市東町草木 86
TEL.0277-95-6333 FAX.0277-95-6100
URL. <http://www.city.midori.gunma.jp/tomihiro>
E-mail. info@tomihiro.jp

表紙作品「すみれ」(2015年)